

〔別記様式第 3 - 1 号〕 令和 7 年度政務活動報告書

会 派 名 立憲民主党仙台

代表者名 石川 建治

政務活動テーマ	活 動 内 容
○国の施策、本市の施策等への提言	・「(仮称) 子どもの権利条例」制定について、調査や意見交換をし、提言をした。 ・「(仮称) 交通基本条例」制定について、調査や意見交換をし、提言をした。 ・「(仮称) 給付型奨学金条例」制定について、調査や意見交換をし、提言をした。 ・「(仮称) 公契約条例」制定について、調査や意見交換をし、提言をした。 ・本市の業務委託における、労務費の適切な価格のための賃金スライド制の導入を提言、実現に結び付けた。 ・自治体 DX 化にかかる自治体職場が請け負う課題について質問した。 ・農業経営基盤強化促進法によって策定された地域計画に基づき、農業生産支援、財政支援を求めた。 ・アートの持つ力の調査を行い、交流の場の提供を求めた。 ・地下鉄内の痴漢盗撮防止対策と、被害者に対する二次被害を防ぐためのマニュアル改定を求めた。 ・調査に基づき、クマ対策における関連組織などの連携、職員向けの対応マニュアル整備、研修を求めた。 ・復興支援団体が運営するイベントでの返金トラブルについて本市の状況を質した。 ・平和行政の推進について、調査や意見交換をし、提言をしている。 ・ダイバーシティのまちづくり、外国にルーツのある人への差別をなくすための調査や意見交換をし、議会質問に活かしている。
○県が進める 4 病院統廃合問題についての課題整理等	・4 病院の統廃合に突き進む村井県政の意図するところや背景等について政策研究を行った。 ・日赤病院移転に関する地域への影響を調査した。 ・精神科病院問題などについて、福祉団体との意見交換も行った。
○マイナンバーカードの問題点など、地方分権推進に向け、調査 研究と政策提言	・マイナンバーカード制度に対し、地方分権の視点から捉え直すなどしたほか、マイナンバーカードと自治事務である国民健康保険証のひも付け、保険証廃止などについて取り上げてきた。また物価高騰対策として市が進めた県のマイナンバーカードを活用したポイント付与について、不保

	て、子育てに資する資源の開拓や養成などを行う、こども家庭支援センターの設置について提言した。
(2) 学校教育	・多様な教育課題に対応するための体制整備を求めた。全校へのステーションの専任教諭配置や、作業療法士や児童発達支援などの福祉専門職との連携を求めた。 ・教員の事務負担を調査し、負担軽減を提言した。 ・インクルーシブ教育のプロセスを調査し、提言した。 ・学校給食の意義と食育推進、栄養教諭等学校給食関係者のさらなる活躍を提言した。 ・増え続ける食物アレルギー児童生徒への対応給食提供の拡充と、20年を経過した『食物アレルギー対応の手引2025』の改定に提言を反映した。 ・市立学校における給食調理室等の空調整備を求め、実現に結び付けた。 ・市が進める「(仮称)国際探求科」について、課題を整理、提言も行ってきた。 ・ギガスクール構想について、児童生徒のゲーム・ネット依存対策などを取り上げてきた。 ・市立・県立特別支援学校の現地調査をした。保護者からの意見を受け、通学支援について要望した。 ・コミュニティスクールについて調査をした。 ・部活動の地域移行に関して関係者と意見交換をした。 ・学校における性暴力・性犯罪防止のための対策を求めた。性暴力加害者にならないために、性教育が重要であることを提言している。 ・学校教職員の働き方改革について、職員の意見をきくなどし、議会での提言も行った。年度中の代替教員の配置、教員の事務負担軽減を提言した。 ・児童生徒の良好な学習環境の確保と、20年以上採用がない正規学校用務員の採用再開を求めた。 ・仙台市立学校の男女トイレ設置数の比率を調査し、女性トイレの利用環境の改善を提言した。
(3) 若者支援	・若者の議会への認識や関心、市政要望について調査した。 ・困難を抱える若年女性や特定妊婦支援について団体からヒアリングを行った。 ・困難を抱える若者を支援するために、多機関や多職種の連携が必要であり、こども若者支援地域協議会設置による効果を質問するなどして、実態把握や連携をさらに進めるよう提言している。 ・困難を抱える若者の居住支援、こども若者シェルターにつ

○福祉政策	いて提言をした。 ・地域福祉政策について、社会福祉協議会の施策や子育て支援などの地域福祉政策について研究しながら、議会での提言にも取り組んできた。 ・子どもの発達相談が深刻な課題になる中、アーチルの増設・機能強化などを議論しながら、提言も行った。 ・医療的ケア児者の家族の負担軽減について、当事者からの意見聴取や、医療者・福祉関係者からの意見聴取を行い、訪問型在宅レスパイト事業を提言した。 ・手話やICTなど意思伝達支援、情報保障支援について調査をして、充実するよう提言をしている。 ・アクティブシニアポイントの活用状況や、高齢者のスマホ教室について調査。仙台市と若者団体の意見交換の場に立ち会って、連携をすすめた。
○公共交通	・地域交通問題について、燕沢地区での実践、本格運行の利用促進等に取り組みを進め、地域での説明会など広報にも取り組んできた。 ・路線バスへの支援強化策に加え「交通反則切符（青切符）制度の周知と自転車の安全確保策を提言した ・JR仙台駅のホームドア等の設置や仙石線のワンマン運転と無人駅化の見直し等、安全対策の提言の他、廃止された「みどりの窓口」の再開を求めた。
○地域コミュニティ支援	・地域コミュニティの中核施設である地区集会所の建設等補助金（200万円）の増額を実現した。
○空き家問題	・新「空き家対策計画」に対し、予防的対策に加え利活用を重視した計画にするよう提言した。
○災害に強いまちづくり	・土砂災害の復旧と安全対策として求めてきた「急傾斜地崩壊対策事業」が始まった。 ・避難行動要支援者、災害時要援護者について ・在宅人工呼吸器使用者等非常用外部電源購入補助の新設をもとめ、実現した。制度について、当事者やご家族、支援者や業者にお知らせをし、必要な方が活用できるための意見交換をした。

○農業問題について	・農業問題について農業者との意見交換を行ったほか、小規模、兼業農家支援等提言した。
○観光	・市内外のナイトコンテンツや川を活かした観光まちづくりの視察をし、議会質問に活かした。 ・海水浴場や、ユニバーサルビーチについて調査を行って、再開した深沼海水浴場の振興に活かす。 ・秋保の観光需要拡大の取組の調査をして、秋保大滝や植物園の環境整備を提言した。
○職員の待遇改善、力を活かす施策	・カスタマーハラスメントについて調査をし、条例策定を見据えた質問をした ・女性職員の活躍推進項目目標が職員の半数が反映されない制度の是正を求めた ・消防局における女性吏員採用の向上に関して、施設設備整備での現場の声の反映を求めた・最低賃金アップに伴う外郭団体に対する補助費等のサポートについて提言をした
○ジェンダー平等、多様性を認め合える社会づくり	・有期雇用が前提のジェンダー化された公共サービスについて、会計年度任用職員の雇止めの見直しを求めた ・ダイバーシティ推進について求めた ・困難な問題を抱える女性への支援、デートDV講座実施に向けて質問を行い、実現の運びとなった
○健康増進施策、地域医療体制等	・パーソナルヘルスレコードの活用、尿中ナトリウムとカリウムの比率の啓発、活用、食物アレルギー表示の啓発を提言した ・初期救急医療体制、市内休日夜間診療所に関する提言及びおとな救急電話相談#7119 受け入れ体制強化を求めた
○市民要望や地域課題等の解決	・「議会活動報告」を発行、情報提供など取り組んだ ・「議会活動報告」を発行し、地域の皆さん、市民への情報提供、政策についての理解を求める取り組みを行ってきた。
○その他	・市民等から寄せられた要望や意見、地域課題などについて、ヒアリングや現地調査などを踏まえ、市・区等に対して陳情、要請等を行い、道路や交差点の改良、カーブミラーの設置等安全対策などを実現した。 ・政策立案等のためのセミナー受講や先進地等への視察を行ったほか、議会報告の発行や、街頭演説、懇談会、アンケートはがき等を通じて、情報提供や市民からの意見、要望などの収集に努めた。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。